



いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和五年 一月一日 発行

文責：大西
編集：白川

あけまして
おめでとうございます

清々しい一年の始まりです。

年令を重ねても、精神面は衰えるとは限りません。経験を積むことで思考力や判断力はさらに成長するとも考えられます。いいまちづくり観音寺輝き隊には九十歳を越えてなお六十代の人何ら変わりなく、若々しく元気一杯な仲間がいます。

メンバー一同初心を忘れず、これからも成長していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【琴弾公園ヒストリー ③②】

《宮本秋四郎》その3

琴弾公園にある銅像 宮本秋四郎のきわめて大きな業績である観音寺港の建設は大正十四年に一ノ谷川東岸から着工し昭和十一年九月に竣工しました。同年十月に宮本秋四郎は

【琴弾公園クイズ ④⑤】

琴弾八幡宮の石段の前にある『石の大鳥居』を寄進した藩主は？

- ① 生駒氏
② 山崎氏
③ 京極氏



◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 1月9日 です。

午前八時～九時（雨天：1月16日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。
※問い合わせ080-3211-1962

六十六歳で逝去されました。宮本秋四郎の遺徳を偲んで1966年に琴弾公園に銅像が建てられました。この銅像を製作した織田朱越は類いまれな造形力を持つ芸術家でした。彼は数々の偉大な人物の銅像製作を行い死ぬまでに残した作品は三百体以上と言われています。（つづく）

雑談 謹言

うさぎ年が幕開けしました。うさぎはその跳ねる姿から『飛躍・向上』の象徴と言われているのでちよつとワクワクしています。十二支の動物が選ばれた経緯は元旦の朝に神様の元へ到着した順番で、ネズミに嘘をつかれて遅れてしまった猫は十二支に入らず、その恨みで今でもネズミをいじめる、という可愛いエピソードがとても好きです。日本以外でも同じような習慣がありますが、中国ではイノシシが豚、ベトナムではウサギが猫、羊が山羊、タイでも羊が山羊、アラビアではタツがワニ、イランではタツがクジラ、ブルガリアでは寅が猫、モンゴルでは寅が豹、など文化風習によつてちよつとずつ違いがあるのはとても興味深い点です。

輝き隊のシンボルである亀も今年は跳びはねるかもしれません。（M）



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し、郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

『輝き隊通信バックナンバー』と検索
または下のQRコードからこの通信
のバックナンバーを見ることができ
ます。また観音寺市のホームページ
からも輝き隊通信は閲覧できます。

